

● Ai認定診療放射線技師からみた 救急医療Aiの課題

福島県立医科大学 | 田代雅実

Ai認定診療放射線技師は全国で1,000名以上が活躍している。救急部門で行われるAiは、各施設で行われるAiの中で多くの割合を占め、最も生前に近い患者の状態を画像として得ることができる重要な手段である。しかし課題もいくつかあり、検査費用、感染対策、画像読影についてなどが挙げられる。

There are more than 1,000 Autopsy imaging certified radiologists working in Japan. Autopsy imaging performed in the emergency department accounts for a large percentage of the Ai performed in each facility. It is also an important means of obtaining images of the patient's condition that are closest to that before death. However, there are several issues that need to be addressed, such as the cost of the test, infection control, and image reading.

● Ai認定診療放射線技師 の現状

公益社団法人日本診療放射線技師会は、2008年11月にAi活用検討委員会を発足した。その中で、①死後画像の撮影は診療放射線技師が行うべき、②死後画像の撮影は技師個人の研鑽に加え、診療放射線技師会等を修了した診療放射線技師が行うことが望ましい、③死後画像の撮影に関する知識や技術向上のためには、認定技師や専門技師についても、技師会の認定制度の中で検討すべきであると、Aiにおける診療放射線技師の立場を示した¹⁾。2011年10月には、死後画像の撮影に関する知識や技術の向上と品質の確保ならびに公正を担保し、死因究明に必要な画像を提供できる環境の醸成を図る目的で、Ai認定診療放射線技師規則が制定され、Ai認定診療放射線技師が認定された。2020年5月現在、全国で1,101名のAi認定診療放射線技師が認定されている²⁾。

● 当院の現状

福島県立医科大学附属病院は、福島県福島市に所在し特定救急病院、災害拠点

病院、高度救命救急センター、高度被ばく医療支援センターとして地域医療の中核を担っている。高度救命救急センターでは、重症患者の救急車を約2,000台以上受け入れ、またドクターヘリは年間約400件の事案に対応している。

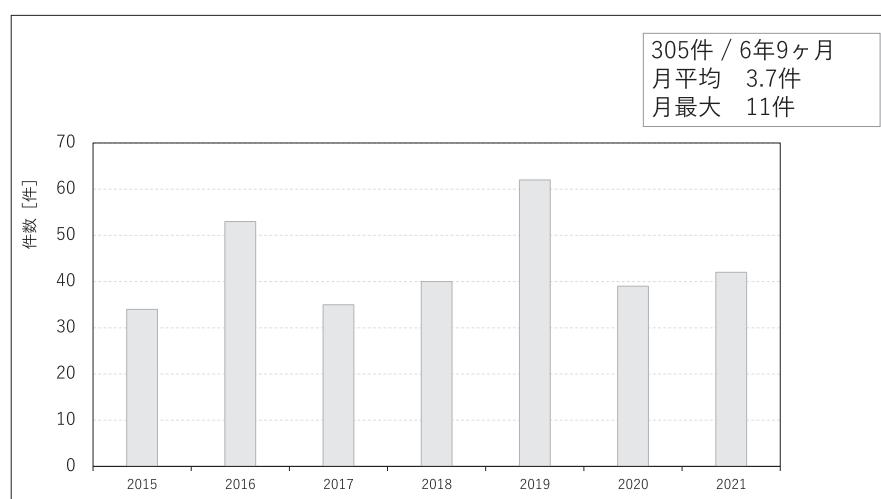


図1 福島医大病院の救急外来Ai-CT件数